

コペンハーゲンミニ観光とショッピング

報告者：内山 百合子・酒井 あや子

朝食を済ませホテルプリンセンを9時に出発。朝の散歩や4日目の自由行動のおかげで、中能さんの案内がなくてもロスキレ駅まで、しかも近道でも行くことができるようになりました。

★ロスキレ駅のふしぎ発見

デンマークの国鉄について少し記します。駅のホームまで誰もが立ち入ることができるようになっていて、入場券なしで人を出迎えにホームに行くことができます。

駅には日本のように改札口がなく駅員さんの姿を1度もみることがありませんでした。チケット(日本では切符)を購入しホームにある黄色の刻印機に挿入すると乗車時刻が刻印されるのですが、これではどこからでもホームに入れ、目を光らせて改札にいる駅員さんもないなんて無賃乗車を心配してしまいます。しかし、デンマークは自己決定、自己尊重の国なのでそのようなことはないとのことです。



車両はゆったりと広々としていて、各車両によって自転車の乗り入れ、車椅子、大きな乳母車、ペット同伴など分かれています。トイレのスペースも広く車椅子でも余裕で使用

できるよう配慮されていてさすが福祉国家です。

★ロスキレ駅からコペンハーゲン中央駅へ



ロスキレ駅9時27分発→10時コペンハーゲン中央駅到着。ホームや構内は薄暗い感じがしましたが、目が慣れてくるとぜんぜん気になりませんでした。かえって日本はすべて明る過ぎるのでは…原発の問題もあり、必要のない電気を使用しない取り組みを、国をあげて取り組むべきだと感じました。

構内は煉瓦のアーチと高い天井、シャンデリアのような照明で映画のワンシーンにあるような素敵な駅でした。構内にはマクドナルドなどのファーストフード店や、キオスク、本屋、郵便局などあり便利になっています。

★歩行者天国ストロイエでショッピング

コペンハーゲン中央駅を一步出ると車がたくさん走っていて、高層ビルも立ち並び田舎から大都会にきた気分でした。途中アンデルセンの銅像の前で記念撮影、隣の建物の前では結婚式を挙げているカップルと出会い、幸せな気持ちになりました。

ストロイエ通り（世界初の歩行者天国）、

その中でもルネッサンス様式の建物が目を引くのはロイヤルコペンハーゲン本店、イルムス百貨店、ファッション、アクセサリ、家具店など両側にはあらゆる商品のお店があり、気になるお店に次から次へと入りおみやげを探しをしました。

★せっかく来たのだから

せっかくだから、ロイヤルコペンハーゲンのカップでも買っていこうと思いましたが、私には値段が高すぎて断念。しかし目の保養にはなりました。そして、お菓子屋さん発見。青少年クラブに訪問した時、子どもたちがおいしそうに食べていたグミを購入しお味見・・・なんとも表現しがたい味で、最後まで食べることができませんでした。子どもたちはあんなにおいしそうに食べていたのになあと、味覚の違いに友人と苦笑しました。

道路を渡った先は、「のみの市」が開かれていて大勢の人が楽しんでいるようです。ロスキレでも何度か「朝市」行きましたが、デンマーク人は「市」が好きだということを実感しました。

★アンデルセンの愛した港町

正面におとぎの国のようなカラフルな建物が並ぶニューハウと運河が見えてきました。目的の「マリリア」のお店の看板を目指しますが、土曜日のためか沢山人出で、特に運河に沿った北側の道路はオープンカフェもあり、賑やかでスムーズに歩けない状態でした。港町ニューハウは、アンデルセンが好んで住んでいた町で晩年過ごしていた赤い煉瓦の家が残っていました。子供が幼い頃アンデルセン童話をよく読み聞かせていたころを思い出し、日本に帰ったら図書館で本を借りて思い出に浸ろうと思いました。中世では、「商人の港」と船員の宿場町として栄え、倉庫であった建物を壊さずにリフォ

ームしてアパートなどにしています。歴史と文化を感じる港町です。

10時40分「マリリア」という日本人女性のお店に到着。荷物を預かっていただき、13時30分に食事を済ませてこの場所集合の確認をして、それぞれのグループで自由行動になりました。

私達のグループは、運河を巡る遊覧船(40クローネ720円・運賃が安い方の船を選びま



した)に乗ることにして、近道の橋に向かいましたが、ヨットが次から次へと出航するため橋は上がったまま…しばらく待ちましたが時間がかかりそうな予感がして、焦る気持ちを抑え反対側へぐりと回りようやく乗船できました。出航時間がわからないと変に焦るものです。(急がば回れの心境)

11時20分の出港。天気に恵まれ海の上は最高な気分です。オペラハウスなどの建物や人魚姫像の後ろ姿、水上からの眺めは陸地から見た景色と角度が違いを楽しむことができました。アナウンスの内容が解らないのがとっても残念。ここでも言葉の壁を感じました。

13時30分カバシ フサコさんの案内で、運河沿いを歩きアンデルセンが住んでいたアパートの説明を受けながら歩きました。

★アマリエンボー宮殿

14時のアマリエンボー宮殿の衛兵交代式に間に合うように向いました。青空が似合う

石畳の広場は広い敷地なので人々はまばらな感じがしました。

1794年のクリスチャンボー城の火災以降、王室の居城として使用されているそうです。各館の前には銃を持った衛兵がガードしています。コペンハーゲンに来たら衛兵交代式を観なくては損とガイドさんのはからいで、伝統的な交代式を拝見することができました。以外であったのが衛兵はみな少年のようでした。毛皮の帽子が印象的な若くてりりしい衛兵の交代式を間近で見ることが出来て感激しました。

デンマークは国民全てが徴兵制で18歳以上3か月間、女性は希望者のみとのことでした。又、女王在宮のしるしとして宮殿の屋根に国旗があるとのことでしたが、あいにくこの日は旗がなく女王はフランスのぶどう畑に行っていて不在とのこと。フサコさんは資料を手にしてわかりやすい説明をしてくださり、より深く理解することができました。

★バスに乗って観光

最初は「ゲフィオンの泉」4頭の雄牛と鞭打つ女神(自分の息子4人を牛に変えて必死に耕し、シェラン島を獲得した伝説があります)。カステレット要塞の一带。チャーチル。人魚姫(アンデルセンの童話をモチーフにしたブロンズ像、昨日の8/23が100歳の誕生日とのこと)を回りました。人魚姫は観光客の「世界の三大がっかり」の一つとされているようですが、私にとっては初めて訪れることができたコペンハーゲン、可憐な人魚像に満足しました。その後はクリスチャン4世が市民のために開放したローゼンボー宮殿(バラの宮殿)を訪ね、ラウンドタワー(石造建築のヨーロッパ最古の天文台、現在は展

望台)を見上げました。

市内では「コペンハーゲン プライドパレ



ドの日」と遭遇しました。同性愛者のパレード(レインボー)、デンマークは1989年世界で初めて同性同士の結婚を認めています。市内を走る路線バスの屋根の両サイドにデンマークの国旗とレインボーの旗を掲げていて、寛容な国民性であること実感しました。

その後、別行動をしていた堺さんと小野さん親子の4人とコペンハーゲン中央駅の待ち合わせの場所で会うことができました。

コペンハーゲンの市内観光は、フサコさんの説明が楽しく、グングンと引き込まれていき時間があればもっとくわしく聞きたいと思いました。ショッピング、運河めぐり、デンマーク



の文化や歴史にふれることができ、思い出に残る有意義な楽しい一日を過ごせました。

コペンハーゲンでの自由行動

報告者：水垣 トモ子



〈アマリエンボー宮殿〉

★戸惑いながらも…

午前中の研修を終え、午後からは自由行動でした。不安もあったので、4人で電車に乗りコペンハーゲンに向かいました。

ロスキレ駅のセブンイレブンで、切符を購入後、テレビ画面でホーム、時間を確認し…日本とは違うことばかりで戸惑いましたが、4人で楽しみながら、遠足のような気分でした。コペンハーゲンの地図をみて、取りあえずショッピングとラウンドタワーに向かうことに決定。

★色々なコペンハーゲン

駅に着き、まず人の多さにびっくり！！日本の渋谷、銀座のような感じで高いビルもありました。その中に、古い建物も融合し不思議な空間でした。広場では、至る所でパフォーマンスが行われ、とても賑やかでどんどん引き込まれていきました。

ラウンドタワーは、町の中心部にあり最上階は展望台になっています。上に行くには、らせん状の道をひたすら登る。なぜ、らせん階段ではないのかというと、馬車も上まで上がれるようにするためということでした。建

物はすべて、石を積み上げてできていて、地震のない国というのがよくわかりました。展望台から観る景色は、感無量！言葉にならないくらい素敵でした。港町なので海も見えたり、至る所にお城もみえたりとても素敵でした。そこで、みんなで記念写真を撮り満喫することができました。その後はまたショッピングしながら、日本食のあるお店を探し、夕食を食べました。コペンハーゲンは、オープンカフェが多く、仕事帰りの方たちもたくさんいました。

★楽しめました

その後、9時を過ぎていましたが、チボリ公園に行き、ジェットコースターに4人で乗りました。チボリ公園は、小さい子から大人まで楽しめる場所でした。

今回、三重県の方と4人で行動しましたが、楽しい時間を過ごすことができました。仕事内容は違いますが、人相手の仕事という意味では共通しているところがあり、たくさん語り合うこともできました。

研修とは違った意味で、学び、楽しめた1日でした。

